

小倉智昭氏 『とくダネ!』 でM'sスピーカーを紹介

■2009年9月22日フジテレビ「とくダネ」の オープニングトークでキャスターの小倉智昭氏が エムズシステムの波動スピーカーを取り上げました。放映5日前、新富町の試聴ルームにて、「MS1001J漆塗り」をお買い上げ、そのままご自宅へお持ち帰りいただきました。

ですからテレビで映っていた波動スピーカーは小倉氏ご自身のものです。そして以下のような素晴らしいトークが展開されたのです。

「音再現に発想の転換」

昨日、サントリーホールで西本智実さん(指揮)のマーラーの5番(マーラー交響曲第5番)、ロンドンのロイヤル・シムフォニーオーケストラでしたが、聴いてきました。カッコいいですね、西本さん。もう、指先が綺麗で、マーラーの5番という難しい繊細で激しいの見事な棒の振り方で、惚れ惚れとしました。

で、帰ってきて、プラズマで西本さんのDVDを見たんですが、最近のプラズマとか液晶のテレビって音が悪い。

何故かという、薄くなったでしょ、場所をとらないように。映像はどんどん綺麗になっているんですが、やっぱりスピーカーのボックスのキャビネットの部分があれだけ薄いと、開発はしているんですが、なかなかいい音が出ない。そこで簡単にいい音を出す方法、新製品をお見せします。



まずは、そのサントリーホールでかつて「演奏家のいない演奏会」というのを、ステージにこの(小さな)スピーカーを1個置いてやったら、8人のうち1人はこのスピーカーを買って帰ったそうです。

波動スピーカーと言って、大砲のような筒の左右にスピーカーが付いています。背中合わせ。これは、スピーカーは国産のもので、ここの「エムズシステム」という会社が作っているものではないんですけど、このスピーカーのキャビネットを開発してシステムとして売り出しているんです。

これは漆塗りですから25万2000円なんですけど、通常のは12万6000円。どこに置いても、部屋全体が音楽に包まれるような、楽器の音色がそのまま

伝わってくるような臨場感のスピーカーなんです。ですから、ず〜っと聞いていてもうるさくない。

お台所にもリビングにいても、部屋全体にホワっとした音が広がっていて、そこにピアノがあって、ここにベースがあってここにドラムスがあって...という感じで、どこからでもそういうふうに聞こえる。

大変落ち着いた、いい雰囲気を作り出すというので六本木(東京)のリッツカールトンのスイートルームには全部このスピーカーが入れているそうですし、お医者さんの日野原さんが注目していたり、田崎さんのようなワインの研究家がこの波動スピーカーの音をワインに聴かせるとワインが美味くなるとかおっしゃられている。私、やったことないから分かりませんがね。

確かに音は素晴らしいですよ。これはオーディオショップでは売っていません。伊勢丹の家具売り場とか、そういう家具売り場のようなところで売っている。で、オーディオショップなどでは10%とか20%とか値引きすることが多いのですが、これは一切値引きしないで、とにかくこの音を楽しんでくださいという姿勢です。できてもう6年ぐらいになるんですが、あまり知られていませんでした。

これほど正確に波動スピーカーの特徴をご紹介いただけたのも、小倉氏がオーディオマニアである以上に、ご自宅でご愛用いただいているから他なりません。

聴く人すべてを魅了する波動スピーカーの心地良い音色。

どうぞ一度ご体感ください。